

なぜ 精神病“早期支援”宣言 が必要なのか

WHOの試算によると、精神病による家族の負担の大きさは、四肢麻痺や認知症に次いで大きい。

当事者や家族の体験談から

……たまらないのは可能性が失われてしまったことです。最初の四年間の治療のために娘の能力がどのくらい失われてしまったのでしょうか。私たちにはわかりません。

……支援サービスは、息子の病気が本当に悪くなるまで受け身的に待っているだけに見えました。悲観主義に染まっていました。「先行投資」という考えがなく、想像力に欠けていました。

……仕事がなく、彼女もいない、テレビもない、本当に何もない……まるで何もかもが大きな落とし穴に落ちて、もうその穴から出られない感じでした。

私は「精神病“早期支援”宣言」のために何が出来るか？

- ・あなたの地域に早期支援チームがないか探してみてください。もしなければ、なぜなのでしょう？
- ・あなたの地域に早期支援チームがあれば、「精神病“早期支援”宣言」にどのように取り組んでいるのか、家族の方とどのように関わっているのか尋ねてみてください。チームの方に下記のとこに連絡すれば詳しい情報がわかると伝えて下さい。
- ・あなたの地域の一次医療信託（プライマリケアトラスト）に、一般医に対する早期精神療法の研修についてどのような計画があるか尋ねてみてください。
- ・あなたの地域の「英国精神保健研究所」開発センターに連絡をとって、あなたが「精神病“早期支援”宣言」のために何が出来るか尋ねてみてください。

詳細をお知りになりたい場合は、あなたの地域の「英国精神保健研究所」開発センター開発センターにお問い合わせ下さい。開発センターのことは下記のウェブサイト上でご確認ください：

www.nimhe.org.uk

「精神病“早期支援”宣言」は下記のURLからご覧頂けます：

www.rethink.org/earlypsychosisdeclaration

連絡先：

Rethink National Early Intervention Programme

1st Floor Castlemill

Birmingham New Road

Dudley, West Midlands DY4 7UF

Email: earlyintervention@rethink.org

Telephone: 0121 522 7037

rethink
severe mental illness
reg charity no: 271028

NHS

National Institute for
Mental Health in England

A leaflet produced by Sheena Foster, Carer and Rethink member as part of a 'Partners in Care' collaboration

designed and printed by **rethink** graphics 01277 221074

精神病 早期 支援 宣言



こんな世界を想像してみよう

- ・人々がお互いの違いを尊敬・尊重し合う
- ・メンタルヘルスのことを誰もが理解している
- ・治療を気軽に受けられる、治療を早期に受けられる
- ・一般臨床家（Practitioner）が快くあなたの悩みに応えてくれる
- ・誰も尊厳を失わされることがない
- ・入院することは稀である
- ・周囲の人の支援があるので勉学や仕事を続けられる
- ・未来への夢や希望がかなえられる
- ・家族や友人は、十分な説明を受けて、当事者の回復を支援することができる
- ・一般臨床家（Practitioner）や地域のケースワーカーが当

NHS

rethink

National Institute for
Mental Health in England